

平成24年9月20日

関係各位

静岡県立大学学長 木苗 直秀

教員の公募について（依頼）

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、このたび本学では、下記の要領で助教候補者を公募することになりました。
つきましては、貴機関の関係者にご周知いただくようお願い申し上げます。

敬具

記

1 公募教員 助教 1名

2 任期 5年

3 所属

(1) 環境科学研究所 健康影響部門 生体機能学研究室（主任教員 下位香代子教授）

(2) 大学院薬食生命科学総合学府 環境科学専攻 生体機能学研究室（兼務）

4 募集分野：生体機能学および生化学

環境・社会的ストレスの生体への影響とその予防に関する研究を行うにあたり、動物や培養細胞を用いて、生化学的、分子生物学的な手法により環境と食の融合研究を進めることができる人を求めています。また、機器分析技術の手法も修得している人材が望ましいと考えています。

- 5 主な担当授業科目等（大学院）
環境分析・評価特論 II（分担）及び生体機能学研究室における大学院生（博士前期・後期課程）の研究指導の補助
- 6 応募資格
担当分野における研究教育及び研究指導に助教としてふさわしい業績と品格を有する者で下記に該当すること。
- (1) 学位：採用時に博士の学位を有すること。
 - (2) 研究業績：生体機能に関して、生化学的、分子生物学的な手法によって解析する研究において、優れた論文を公表していること。
 - (3) 生体機能学研究室において、上記4に記した研究分野について主任教員を補佐し、大学院生の教育及び研究指導に当たるとともに、自ら研究を推進できること。
 - (4) 英語での論文執筆及び口頭発表ができる能力を有すること。
 - (5) 採用後は静岡市又はその近郊に居住できること。
- 7 選考方法 書類選考の後、本学において面接を行います。
なお、その際の旅費等は自己負担とします。
- 8 採用時期 平成25年4月1日（予定）
- 9 提出書類 様式は自由ですが、原則として、A4判縦で横書き、各1部
なお、別紙、書類記載上の注意に御留意ください。
- (1) 履歴書（写真添付）
 - (2) 研究業績目録
 - (3) 主要研究業績（論文別刷等）3点以内
 - (4) 推薦書（一通：書式は自由、厳封のこと）
なお、自薦の場合は本人について照会できる方2名の名前と連絡先
 - (5) これまでの研究・教育・実務経験に関する概要（書式自由：1,000字程度）
 - (6) 今後の研究と教育に対する抱負や考え（書式自由：1,000字程度）
 - (7) 学会等における活動状況（書式自由）
 - (8) 当方より連絡する場合のあて先、電話番号、及びEメールアドレス
- 10 提出期限 平成24年11月20日（火）午後5時 必着
- 11 提出先
〒422-8526 静岡市駿河区谷田5-2番1号
静岡県立大学事務局教育研究推進部企画調整室（環境科学研究所担当）
（なお、提出書類は書留郵便とし、封筒に「教員応募関係書類在中（生体機能学研究室）」と朱書してください。また、配達の状態については、日本郵便ホームページの「追跡サービス」により確認してください）。

12 問合せ先 静岡県立大学環境科学研究所 所長（教授） 坂田 昌弘
電話：054-264-5729（直通）
E-mail：sakatam@u-shizuoka-ken.ac.jp

13 その他

- (1) 提出いただいた書類に含まれる個人情報は、個人情報保護法により本教員選考以外の目的には使用いたしません。
- (2) 応募書類は、原則として返却いたしません。審査中は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任をもって廃棄します。原著等で返却を希望される場合は、応募者の費用負担により返却しますので、返却を希望する旨を明記の上、郵便切手を貼った返信用封筒又は着払い扱いの宅配便の宛名ラベルを同封してください。
- (3) 採用の折には健康診断を受けていただくことになります。

本研究所及び本専攻に関する詳細はホームページをご覧ください。

研究所： <http://kankyo.u-shizuoka-ken.ac.jp/EnvInst.html>

専攻： <http://dehs.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

書類作成上の注意事項

1 履歴書

- (1) 氏名は自筆で記入してください。
性別、生年月日、年齢、本籍（都道府県市町村）、現住所（電話）、連絡先（電話）を漏れなく記入してください。
- (2) 学歴の欄には、大学・学部入学以降の学歴を記入し、学位については学位名、授与された年月および大学名を記入してください。
- (3) 職歴欄には、職名、地位等についても明記し、在職期間を記入してください。
なお、研究生及び専攻生などの研究歴、非常勤講師などの教育歴、大学教員の場合には所属教室・担当授業科目等も記入してください。また、海外留学についても、期間、留学先、費用負担等を記入してください。

2 研究業績目録

次の区分及び順序で、発表年代順に記入し、自分の名前にアンダーラインを付けてください。また、著者名及びタイトル名について、和文論文は和文で、欧文論文は欧文で記載し、主要論文別刷として提出したものは、番号に○を付けてください。なお、可能であれば、各論文に最新の IF を記載してください。

- (1) 原 著
投稿中のものは記載しないでください。ただし、受理されて印刷中のものは、その証明となる書類等の写しを添付の上、記載してください。
- (2) プロシーディングス
国際会議のものに限る。
- (3) 総 説
投稿中のものは記載しないでください。ただし、受理されて印刷中のものは、その証明となる書類等の写しを添付の上、記載してください。
- (4) 書 籍
共著の場合は、著者全員の氏名を、分担執筆の場合は、どの項を分担したのかを記載してください。また、翻訳の場合は、その旨を記載してください。
- (5) 報告書等
題目、報告書名、初頁～終頁、発行所、年を記載してください。
- (6) 学会発表等
最近 5 年以内の発表について、特別講演、シンポジウム、一般講演の順序で記載してください。
- (7) 学位論文の主題名と取得大学名
- (8) 科学研究費等の受領実績
最近 5 年間に文部科学省、あるいは日本学術振興会の科学研究費、その他の省庁、自治体、財団、企業等からの助成金受領実績について、助成金の名称、課題名、代表・分担の区分（分担の場合は代表者氏名）、および金額を記載してください。

3 学会等における活動状況

加入学会、役職名、学会等における活動（学会誌、専門雑誌等の編集等）、学会賞などの受賞を記載してください。